

2025 年 9 月 1 日

東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号
A G C 株式会社
代表取締役 平井 良典

吸収合併に関する事前開示事項
(会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に定める書面)

A G C 株式会社（以下「存続会社」といいます。）は、A G C ロジスティクス株式会社（以下「消滅会社」といいます。）との間で 2025 年 7 月 11 日に締結した吸収合併契約に基づき、2026 年 1 月 1 日を効力発生日として、消滅会社を吸収合併（以下「本吸収合併」といいます。）するにあたり、下記のとおり開示いたします。

記

1. 吸収合併契約の内容

別紙 1 のとおりです。

2. 合併対価の相当性に関する事項

存続会社は、消滅会社の発行済株式の全部を所有しており、存続会社が消滅会社の株主に対してその株式に代わる金銭等を交付しないことは相当であると考えております。

3. 新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

4. 消滅会社の計算書類等に関する事項

(1) 最終事業年度に係る計算書類等

別紙 2 のとおりです。

(2) 最終事業年度の末日後を臨時決算日とする臨時計算書類等があるときは、当該臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

(3) 最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

該当事項はありません。

5. 存続会社の最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

該当事項はありません。

6. 吸収合併が効力を生ずる日以後における存続会社の債務の履行の見込みに関する事項

本吸収合併効力発生日後の存続会社の資産の額は、負債の額を十分に上回ることが見込まれます。
また、本吸収合併後の存続会社の収益状況及びキャッシュ・フローの状況について、債務の履行に支障を及ぼすような事態は現在のところ予測されておりません。したがって、本吸収合併後における存続会社の債務について履行の見込みがあるものと判断いたします。

以上



吸収合併契約書

A G C株式会社（以下、「甲」という。）とA G Cロジスティクス株式会社（以下、「乙」という。）とは、甲を吸収合併存続会社とし、乙を吸収合併消滅会社とする甲乙間の合併に関し、次のとおり吸収合併契約（以下、「本契約」という。）を締結する。

第1条（合併の方法）

甲及び乙は、本契約に従い、甲を吸収合併存続会社、乙を吸収合併消滅会社として合併（以下、「本合併」という。）する。

第2条（商号及び住所）

甲及び乙の商号及び住所は、次の各号のとおりである。

（1）吸収合併存続会社（甲）

商号：A G C株式会社

住所：東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

（2）吸収合併消滅会社（乙）

商号：A G Cロジスティクス株式会社

住所：東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

第3条（本合併に際して交付する金銭等）

甲は、乙の発行済株式の全てを保有していることから、本合併に際し、乙の株主に対して、金銭等の交付を行わない。

第4条（本合併の効力発生日）

本合併がその効力を生ずる日（以下、「効力発生日」という。）は、2026年1月1日とする。ただし、合併手続の進行その他の事由により変更の必要があるときは、甲乙協議のうえ、効力発生日を変更することができる。

第5条（甲の資本金及び準備金）

本合併により、甲の資本金、資本準備金及び利益準備金の額は増加しない。

第6条（会社財産の承継）

甲は、効力発生日において、乙の資産及び負債、その他一切の権利義務を承継するものとする。

第7条（甲の簡易合併と乙の略式合併）

1. 甲は、会社法第796条第2項の規定により、本契約について株主総会の承認を得ないで本合併を行う。
2. 乙は、会社法第784条第1項の規定により、本契約について株主総会の承認を得ないで本合併を行う。

第8条（善管注意義務）

甲及び乙は、本契約締結後、効力発生日までの間、善良な管理者の注意をもってそれぞれ事業を執行し、かつ一切の財産の管理及び運営を行うものとし、その財産又は権利義務に重大な影響を及ぼす行為を行う場合は、あらかじめ甲乙協議し合意したうえで、これを行うものとする。

第9条（合併条件の変更、本契約の解除）

本契約締結の日から効力発生日の前日までにおいて、天災地変その他の事由により、甲又は乙の資産もしくは経営状態に重大な影響が生じたとき、その他本合併の目的の達成が困難になったときは、甲乙協議のうえ、本契約の条件を変更し、又は本契約を解除することができる。

第10条（協議事項）

本契約に定めるもののほか、本合併に関し必要な事項は本契約の趣旨に従い、甲乙協議のうえ、決定するものとする。

本契約の成立を証するため、本書1通を作成し、甲乙記名押印のうえ、甲が原本を保管し、乙はその写しを保管する。

2025年7月11日

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
甲 AGC株式会社
代表取締役 平井 良典



東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
乙 AGCロジスティクス株式会社
代表取締役 栗田 幸一



※※※※※※※※※※※※※※※※※※

決算報告書

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

第 39 期

自 2024年 1月 1日

至 2024年12月31日

A G C ロジスティクス株式会社

貸借対照表

2024年 12月 31日 現在

(単位：円)

A G Cロジスティクス株式会社

資 産 の 部		負 債 の 部	
【 流 動 資 産 】	1,248,482,013	【 流 動 負 債 】	622,271,044
現 金	23,246	買 掛 金	399,967,920
銀 行 預 金	1,096,945	電 子 記 録 債 務	151,107,850
電 子 記 録 債 権	6,560,425	未 払 金	52,208,630
売 掛 金	615,938,414	未 払 費 用	910,182
預 け 金	525,971,646	契 約 負 債 (流 動)	3,380,362
未 収 金	22,737,755	未 払 法 人 税 等	503,500
前 払 費 用	6,766,432	未 払 消 費 税 等	14,192,600
仮 払 金	135,626	【 固 定 負 債 】	3,451,978
未 収 還 付 事 業 税 等	9,979,700	繰 延 税 金 負 債	3,451,978
未 収 還 付 法 人 税 等	21,145,024	負 債 合 計	625,723,022
未 収 消 費 税 等	38,126,800	純 資 産 の 部	
【 固 定 資 産 】	750,776,875	【 株 主 資 本 】	1,373,535,866
【 有 形 固 定 資 産 】	741,547,677	【 資 本 金 】	100,000,000
建 物	638,537,017	【 利 益 剰 余 金 】	1,273,535,866
建 物 付 属 設 備	98,925,749	利 益 準 備 金	25,000,000
構 築 物	3,279,604	【 そ の 他 利 益 剰 余 金 】	1,248,535,866
機 械 装 置	15	繰 越 利 益 剰 余 金	1,248,535,866
車 両 運 搬 具	1	純 資 産 合 計	1,373,535,866
工 具 器 具 備 品	805,291		
【 無 形 固 定 資 産 】	8,029,198		
電 話 加 入 権	9,000		
無 形 資 産	8,020,198		
【 投 資 そ の 他 資 産 】	1,200,000		
そ の 他 投 資	1,200,000		
資 産 合 計	1,999,258,888	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,999,258,888

損 益 計 算 書

自 2024年 1月 1日
至 2024年 12月 31日

(単位：円)

A G C ロジスティクス株式会社

勘 定 科 目	金 額	
【 売 上 高 】		15,807,740,993
【 売 上 原 価 】		
A G C 物 流 原 価	8,801,293,428	
他 社 物 流 原 価	5,078,908,015	
A G C 賃 貸 原 価	471,842,805	
他 社 賃 貸 原 価	304,590,920	
A G C シ ス テ ム 原 価	17,364,093	
他 社 シ ス テ ム 原 価	12,400	
A G C そ の 他 原 価	221,130	
他 社 そ の 他 原 価	31,424,422	
合 計	14,705,657,213	14,705,657,213
当 期 製 品 製 造 原 価	653,049,080	
合 計	653,049,080	653,049,080
売 上 原 価 合 計		15,358,706,293
売 上 総 利 益		449,034,700
【販売費及び一般管理費】		
役 員 報 酬	21,379,698	
主 費 (正)	103,364,132	
副 費 (正)	18,341,185	
賞 与 (正)	40,432,468	
役 務 提 供 (主 費)	46,908,847	
役 務 提 供 (副 費)	23,525,219	
退 職 給 付 費 用	9,490,132	
福 利 厚 生 費	12,805,121	
外 注 費	43,119,613	
水 道 光 熱 費	1,330,756	
修 消 費	35,611,117	
図 書 費	266,299	
会 議 費	41,705	
交 際 費	1,385,844	
少 額 飲 食 費 (対 社 外)	639,456	
寄 付 金	32,800	
会 費	310,500	
採 用 ・ 教 育 費	2,251,239	
旅 費 交 通 費	10,368,288	
旅 費 (定 期)	1,220,890	
通 信 費	4,131,623	
荷 造 運 賃	240,857	
賃 借 料	16,905,999	
リ ー ス 料	2,884,699	
事 務 代 行 料	6,399,073	

廣 告 宣 伝 費	167,950	
支 払 手 数 料	107,582	
保 險 料	4,494,798	
租 税 公 課	425,535	
雜 費	947,735	
振 込 手 数 料	1,047,025	
減 価 償 却 費	6,130,754	
営 業 内 雑 収 入	5,193,527	
部 門 間 振 替	△ 4,452,000	
他 勘 定 振 替	△ 82,785,391	324,278,021
営 業 利 益		124,756,679
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	1,718,485	1,718,485
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	94	94
経 常 利 益		126,475,070
【 特 別 損 失 】		
固 定 資 産 除 却 損	21,002	21,002
税 引 前 当 期 純 利 益		126,454,068
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		△ 18,709,230
法 人 税 等 調 整 額		70,196,600
当 期 純 利 益		74,966,698

株主資本等変動計算書

自 2024年 1月 1日
至 2024年 12月 31日

(単位：円)

A G Cロジスティクス株式会社

勘定科目			金額
【株主資本】			
【資本金】			
資本金	当期首残高及び当期末残高		100,000,000
【利益剰余金】			
利益準備金	当期首残高及び当期末残高		25,000,000
【その他利益剰余金】			
繰越利益剰余金	当期首残高		1,312,835,168
	当期変動額 2023年度配当金 AGC(株)へ支払い	△	139,266,000
	当期純利益		74,966,698
	当期末残高		1,248,535,866
利益剰余金合計	当期首残高		1,337,835,168
	当期変動額	△	64,299,302
	当期末残高		1,273,535,866
株主資本合計	当期首残高		1,437,835,168
	当期変動額	△	64,299,302
	当期末残高		1,373,535,866
純資産合計	当期首残高		1,437,835,168
	当期変動額	△	64,299,302
	当期末残高		1,373,535,866

事業報告書

(自2024年1月1日 至2024年12月31日)

(1) 全般

弊社は1987年に旧：旭硝子(株)の物流部門を分社化し、物流子会社としてスタートして以来、ビジネスパートナー様との良好な相互利益関係を保ちつつ、AGC株式会社・AGC関係会社の物流安全品質向上、業務の効率化、コストダウン、物流DX、及び周辺への外販拡大を進めて参りました。

本年も『つなぐ+』の理念の下物流子会社として「環境と人に優しく、高効率で、安全で安心な物流システムの構築」を方針として鋭意努力してまいりましたが、2024年問題等物流を取り巻く環境が大きく変わり、事業戦略としての物流の重要性が増す中、AGCグループにおけるロジスティクス機能の強化による差別化・事業競争力向上を達成するためには、物流子会社ではなくAGC(株)本体に戻した方が良いとの結論に至りました。

本年度は、関係各部署とも調整の上、7月21日付けでAGL社員全員転籍し、8月度より、AGC株式会社調達・ロジスティクス部本社の物流管理組織を拡充するとともに、AGC株式会社及びグループ会社の国内各拠点に新組織を設置の上、弊社の国内ロジスティクス機能を、全面的に業務移管いたしました。

外販につきましても、順次縮小し、2025年中ごろまでに全ての取引を終了する予定で、2025年末を目途に会社を終息するべく準備を進めております。

その結果、売上高は昨年比62%の 15,808百万円、経常利益は昨年比58%の126百万円、税引き後当期利益は昨年比54%の75百万円となりました。

以下、顧客別に概況を説明致します。

(2) AGC(株)及び関係会社関係

2024年8月度より、弊社の国内ロジスティクス機能を、AGC株式会社及びグループ各社の国内各拠点へ移管し、輸送契約につきましても、AGC株式会社及びグループ各社とビジネスパートナー様との直接契約に変更いたしました。

その結果、AGC(株)及び関係会社への売上は2024年8月以降ゼロとなりました。AGC株式会社への売上高は、前年比60%の9,908百万円、関係会社への売上高は、前年比58%の3,449百万円となりました。

(3) その他の顧客(外販)関係

2024年8月度より順次縮小し、2025年中ごろまでに全ての取引を終了する予定です。

外販関係売上高は、前年比90%の2,427百万円となりました。

(4) 2025年度に向けて

AGL業務は、AGC(株)からの休職派遣者13名及び人材派遣会社社員1名及び各場所兼務者4.4名で継続していますが、2025年は、AGC(株)新組織の物流管理の立ち上げを支援するとともに、外販終息に合わせた人員体制に順次移行し、一般管理費も最低限に縮小しながら、スムーズな会社終息を進めてまいります。

以上

2025年1月29日

AGCロジスティクス株式会社
代表取締役社長 栗田 幸一 殿

監査役 大沼 敏也



監査報告書

第39期の会社決算について、下記のとおり会計監査を実施したので、その結果及び概要を報告する。

第39期 自 2024年1月1日
至 2024年12月31日

記

1. 監査結果

財務諸表が適正に作成されていると認められます。

2. 監査実施日

2025年1月27日

3. 監査実行者

大沼 敏也

4. 監査資料

貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、合計残高試算表、
各勘定補助簿、各勘定残高内訳明細表、諸証憑書類

5. 監査の概要

- 1) 合計残高試算表と貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書との照合
すべて一致しており、正確であった。
- 2) 貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書と各勘定残高内訳明細表との照合
すべて一致しており、正確であった。
- 3) 各勘定残高内訳明細表と現物及び諸証憑書類との照合
すべて一致しており、正確であった。

以上